

The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2014年10月号 通巻70号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2014

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

大学はブラックボックス 確かにそこにいるはずなのに



写真は本文とは関係がないかもしれませんが、あるかもしれません。

「ブラックボックス」と言っても、大学改革とか教育改革の話をするわけではありません。もちろんタヌキの話なのです。

目撃情報が少ない空間

間違いなくそこにはタヌキなどがいるはずなのに、目撃情報がほとんど無いというブラックボックスのような場所がいくつもあります。一番わかりやすい例が皇居や赤坂御用地です。そりゃ、中の情報が簡単に漏れ出たはいけない場所ですからこれも当然のことです。

新宿御苑など一部の公園は夜間は閉園していますので夜行性のタヌキなどを目撃することはできません。そうでなくても真夜中の公園にわざわざ出かける人は非常に少なく、さらに、暗闇の中では動物を視認することすら困難です。その結果このような場所では目撃情報は極めて少なくなります。それでもそこにタヌキたちがいることは推測できるので。なぜかという、その周辺地域

でも目撃情報があるからです。上に挙げた皇居、明治神宮などでもその周囲から目撃情報が届きます。周辺にいるならば、その中心の緑豊かな場所に動物たちがいると推測できるのです。

同じことが大学にも言えます。例えばT大学(文京区の方)では周辺にタヌキ、ハクビシンの目撃情報はあるもののなかなか敷地内からの情報はありませんでした(現在は複数あります)。同じT大学の目黒区の方では敷地内での目撃情報はまだありませんが、周辺での目撃があることから当然生息していると予想されます。

タヌキなどが生息している大学は他にもTK大学、TJ大学、G大学などがあります。ターミナル駅のすぐ近くにあるR大学では一時期ハクビシンがいたようです。都の西北にあるというW大学は残念ながらタヌキたちは生息していません。敷地がかなり狭く、建物がぎゅうぎゅうに建っているからです。ハクビシンが立ち寄ることぐらいはあるかもしれませんが、そのW大学でもちょっと離れ

たところにあるキャンパスではタヌキもハクビシンも目撃できる可能性があります。これら以外でもタヌキなどの生息が予想される大学はあちこちにあります。

情報ください！

大学からの目撃情報が少ない理由は、夜間人口がゼロに近いからです。しかし、夜遅くまでいる学生や先生もいるはずですから目撃可能性はあるはずなのです。目撃しても、大学外に通報する必要はないと考える人がほとんどなのかもしれません。そんなことは気にせずに東京タヌキ探検隊！にぜひ報告してほしいものです。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>